

市民参画のまちづくりをめざして

職員人事異動

平成14年度 人事異動方針

1 市民参加のまちづくりを推進

地方分権や合併が叫ばれるなか、その原動力として、まちの活性化、人の資質、意識改革が必要であり、市民と行政が一体となって市民によるまちづくり施策を強化します。

このため、企画部内に「市民まちづくり推進室」を設置し、課長級を配置するとともに、生涯学習、国際交流、広報コミュニケーション、男女共同参画、自治振興の5係を配置し、市民参画によるまちづくりを推進する体制を整備します。

2 技術職員の人事交流に伴う職員配置

県からの技術系職員を建設部長として受け入れ、市技術職員を県へ派遣します。

3 行政組織、機構の見直し

青少年の育成強化のため、教育委員会に青少年課を新設しました。

学校の施設整備事業推進のため教育委員会学校教育課に施設監(課長級)を配置します。

4 当面する諸事業の推進および市民サービスの向上を図る体制の確立

小中学校におけるIT教育の推進のため、学校教育課にIT指導者を配置します。平成記念公園の開園に伴う専任職員(係長級)の配置します。

学童保育対策の充実のため、児童課職員及び嘱託員の増員充実を図ります。

合併処理浄化槽に係る事務を下水道課に移管して、下水道などに係る事務を同課で

一元化処理、教育センターを学校教育課へ管理移管します。

学習支援事業などの充実を図るため臨時講師8人増員します。

外国人との共生による職員の増員(県国際交流センターからの派遣)します。

障害児保育の充実を図るためカナリヤの家に指導員(嘱託員)を増員充実を図ります。

部長級

企画部長 坂井 知足(議事事務局長)

環境経済部長 西田 伸之(建設部企画整理課長)

建設部長 酒井 博(岐阜県より派遣)

議会事務局長 長谷川 克己

(環境経済部長)

課長級

企画部市民まちづくり推進室長

宮口 誠(教育部生涯学習課長)

総務部行財政課長 酒向 規男

(総務部税務課長)

総務部税務課長 天池 恭一

(企画部総合政策課情報企画監)

建設部企画整理課長心得 伊藤 誠一(企画部総合政策課長補佐兼政策推進係長)

教育部学校教育課施設監 亀谷 敏美(総務部税務課主幹兼法人

市民税係長)

教育部青少年課長心得兼中央公民館長事務取扱 天池 浜夫

(企画部秘書課付(県へ派遣))

主幹級

企画部秘書課主幹兼古井連絡所

長 渡辺 美知夫(教育部生涯

学習課主幹兼中央公民館長)